【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成19年11月1日(2007.11.1)

【公開番号】特開2006-86098(P2006-86098A)
【公開日】平成18年3月30日(2006.3.30)
【年通号数】公開・登録公報2006-013
【出願番号】特願2004-272532(P2004-272532)
【国際特許分類】
Ｆ２１Ｖ　29/02　(2006.01)
Ｆ２１Ｖ　29/00　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　21/14　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　21/16　(2006.01)
Ｆ２１Ｙ 101/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ２１Ｍ　7/00　Ｌ
Ｆ２１Ｖ　29/00　Ｚ
Ｇ０３Ｂ　21/14　Ａ
Ｇ０３Ｂ　21/16
Ｆ２１Ｙ 101:00

【手続補正書】
【提出日】平成19年9月14日(2007.9.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも１つの送風手段を備え、対向配置された陰極と陽極の間に発光部を有する発光管が結合部材を介してリフレクタに固定されている光源装置において、
前記発光管の結合部材側を冷却するために、前記送風手段からの冷却風を導風壁を介して前記結合部材側に導くように構成されている第１の流路と、
前記結合部材側に前記陰極側が配置されるようにした前記発光管の、前記発光部側を冷却するために、前記送風手段からの冷却風を流す第２の流路とが、それぞれ別の流路として構成されていることを特徴とする光源装置。
【請求項２】
前記結合部材は、前記導風壁を介して前記結合部材側に導かれた前記送風手段からの冷却風を、該結合部材に設けられた開口を介して該結合部材に固定されている発光管側に導風するように構成されていることを特徴とする請求項１に記載の光源装置。
【請求項３】
前記第２の流路は、前記送風手段からの冷却風を、前記発光管の陽極側から発光部側に流すように構成されていることを特徴とする請求項１または請求項２に記載の光源装置。
【請求項４】
前記第１の流路と前記第２の流路に冷却風を送風する送風手段が、それぞれ別の送風手段によって構成されていることを特徴とする請求項１～３のいずれか１項に記載の光源装置。
【請求項５】
請求項１～４のいずれか１項に記載の光源装置からの光を用いて、画像を被投射面上に投

射することを特徴とする投射型表示装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
本発明は、以下のように構成した光源装置及び該光源装置を有する投射型表示装置を提供するものである。
すなわち、本発明の光源装置は、少なくとも１つの送風手段を備え、対向配置された陰極と陽極の間に発光部を有する発光管が結合部材を介してリフレクタに固定されている光源装置において、
前記発光管の結合部材側を冷却するために、前記送風手段からの冷却風を導風壁を介して前記結合部材側に導くように構成されている第１の流路と、
前記結合部材側に前記陰極側が配置されるようにした前記発光管の、前記発光部側を冷却するために、前記送風手段からの冷却風を流す第２の流路とが、それぞれ別の流路として構成されていることを特徴としている。
また、本発明の投射型表示装置は、上記した光源装置からの光を用いて、画像を被投射面上に投射することを特徴としている。